



# 令和5年度 施政および予算編成方針

2月24日(金)、令和5年第1回伊賀市議会定例会の開会にあたり、岡本市長が施政および予算編成方針を述べました。ここではその概要をお知らせします。

## 「子どもファースト！ 未来へ”跳”予算」



新型コロナウイルスの感染拡大から3年が経ちます。5月8日からは、感染症上の位置付けも5類に引き下げられるなど、感染対策のあり方も大きく変わろうとしています。多くの人でにぎわうイベント会場を見ますと、社会全体が1日も早く以前の活気を取り戻し、コロナと共に生きる次の時代を期待しているように感じます。一方、エネルギーや食料品価格などの高騰に対し、市では大規模な経済対策事業を実施し、生活者や事業者への支援に取り組んでいます。が、厳しい状況は続いています。

国では、4月に設置する「子ども家庭庁」を子ども政策の司令塔とし、社会全体で子ども・子育てを応援する意識を高め、皆さんが参加する「次元の異なる少子化対策」に取り組むこととしています。

「伊賀の宝」である子どもたちのための施策をさらに充実させ、引き続き「コロナの先の伊賀づくり」をめざし、「子どもくらしにぎわい」の3本を柱に、各種施策を展開するとともに、自治体DXなどにも取り組めます。

## 子ども



### 福祉医療費助成

9月から受給資格認定にかかる所得制限を撤廃し、中学生以下のすべての子どもを対象に、受診時の窓口での支払いを不要とする医療費の窓口無料化を行います。

### 小中学校の給食無償化

4月から市内の公立小中学校の給食の無償化を始めます。このことにより家庭での食生活の充実や、朝食を欠食する児童生徒が減るよう食育の充実を推進します。



## 教育環境

市内小中学校の適正規模、適正配置について、新たな「校区再編計画」の策定に取り組みます。

学校施設については、「学校施設長寿化計画」に基づく事業の取り組みを継続します。そのほか、トイレのバリアフリー化や洋式化工事、空調設備工事など、引き続き教育施設の整備を進めます。



## くらし



**防災・減災**  
伊賀市防災・情報アプリ「ハザードン」の機能向上とその周知、自主防災組織などへの支援の強化に努めます。

また、防災関係法令の改正などを

反映した「伊賀市地域防災計画」の改訂など、「災害に強いまちづくり」に向けて取り組みます。



「ハザードン」のハザードマップ画面

## 川上ダム

今年度から管理運用が開始されます。今後は、水道事業の安定水源の確保や、減災対策の面で、上野遊水地の湛水貯留能力にダムの洪水調節能力が加わり、木津川流域や下流域の住民生活の安心・安全をさらに高めることとなります。

また、「川上ダム水源地域ビジョン」に基づく取り組みを進めるとともに、新しくできるダム湖「あおやま川上湖」の観光資源としての活用を考えていきます。



## 消防の連携・協力

令和6年度からの名張市との共同消防指令センターの運用開始に向け、消防指令センターの統合システムの構築や庁舎改修などの整備を行います。

## 名神名阪連絡道路の整備

昨年4月に、国から重要物流道路候補路線として、名神高速道路の八日市IC付近を起点に名阪国道の上柘植IC付近までの南北約30kmが「候補路線」に指定されました。今後は、期成同盟会や沿線全地域が一丸となり、ルート帯の決定やルートの絞り込みが円滑に行われるよう取り組みます。



## JR関西本線

昨年4月、JR西日本により大量輸送機関としての機能を発揮していない線区として公表を受けました。現在、関西本線の活性化と存続に向けて、関西本線木津亀山間活性化同盟会などの団体とともに、ウオーキ

## バス交通

地域の人々と共に、島ヶ原地域における新たなバス運行形態を構築し、今年度中の実証運行をめざします。また、他地域においても、並行して行政バスの見直しの協議を進めます。



## 伊賀鉄道伊賀線

アフターコロナを見据えた国内外の旅行客への積極的な情報発信などによる定期外収入の回復や、運営経費の削減に向けた取り組みを進めます。

また、利便性の向上を図るため、ICカードに対応した設備の整備を進めます。



## 成人式

市では、民法改正に伴い、去る1月8日に20歳を対象に、3月19日には19歳を対象に行いました。5月4日には伊賀市文化会館で18歳を対象とした成人式を開催する準備を進めています。

また、成年年齢の引き下げによりさまざまな権利とともに責任が発生するため、消費者教育の取り組みなども引き続き行います。

ピード感をもって取り組みます。



## 空き家対策

市街地エリアの空き家対策の一環として行っている古民家再生生活事業「NIPPONIA HOTEL (ニッポニアホテル) 伊賀上野城下町」は、今年度に2期開発として民間事業者による新規2棟の宿泊施設の整備が計画されており、市も連携して準備を進めます。



## 多文化共生

外国人住民が社会的不利益を被ることなく、日本人住民と共にまちづくりに参画し、すべての人が「住みよさ」を実感できる伊賀市をめざすため、多様な関係団体などと連携して取り組みます。



## マイナンバーカードの普及と窓口サービス向上の取り組み

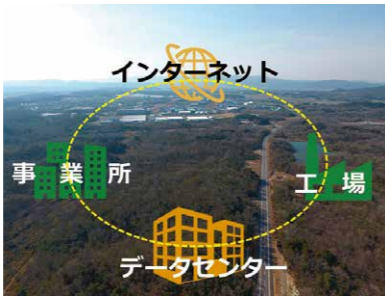
2月6日から、マイナンバーカードを利用し、マイナポータルを通じて、転入(転居)届手続きのための来庁日予約や、転出届をオンラインでできるサービスが始まりました。



## 企業誘致活動

持続可能な伊賀市のまちづくりに向け、伊賀の特色を生かした企業誘致に取り組んでいます。経済産業省のデータセンター立地調査においては、「産業技術実用化開発事業費補助金」に採択された10の自治体のうちの一つに選ばれました。

伊賀市のポテンシャルを明らかにした上で、引き続き、企業誘致を進めます。



## 文化芸術振興の推進

令和6年に、俳聖松尾芭蕉の生誕380年を迎えます。改めて、芭蕉さんのふるさと伊賀市を全国に発信していくとともに、市民の皆さんに今一度、功績を知っていただき、顕彰を次の世代へと引き継いでいく機会にしたいと考えます。

また、市に寄贈された美術作品や伝えられてきた文化財などを適切に保管・研究し、活用するための美術博物館の建設に向けた準備を始めます。懸案となっている新しい芭蕉翁

今後も、マイナンバーカードを利用して受けられる行政サービスの拡充を図りながら、さらなるカード普及を進めるとともに、窓口サービスの向上に取り組めます。

## にぎわい



## にぎわい忍者回廊整備事業

旧上野市庁舎の保存・改修については、有識者会議や新図書館に関する市民ワークショップでの意見を踏まえて、近く基本設計を取りまとめる予定です。

また、成瀬平馬家屋敷跡に整備を予定している忍者体験施設については、スケジュールに基づいて設計を進めており、今年秋ごろの着工、令和6年中のオープンを予定しています。

この事業は、にぎわいの効果を中心市街地のみならず、伊賀市全域に波及させようとするものです。この事業を契機に公民連携でさまざまな事業に取り組みます。



新図書館イメージ

記念館の機能もあわせて、具体化していきます。



## その他



## スポーツ振興

スケートボードやBMX、ボルダリングなどのアーバンスポーツは、新しいスポーツ分野として若年世代を中心に関心が高まりつつあります。市内では気軽に競技をする場所がないことが課題となっており、アーバンスポーツ施設の整備を進めていきます。



提供：(一社)全日本フリースタイルBMX連盟 理事 FOURBLOCK代表 田邊 泰志さん

## 観光誘客

2月22日の忍者の日に、(公財)大阪観光局と伊賀市、甲賀市、両市の観光協会との間で、観光を通じた地域活性化に関する連携協定を締結しました。都市型観光資源を有する大阪と連携を図ることで相乗効果を発揮し、持続可能な観光地づくりと地域活性化をめざし、令和7年の「大阪・関西万博」に向けた取り組みを着実に進めていきます。



## 城下町の街並み

日本イコモス国内委員会により「日本の20世紀遺産20選」に選定された伊賀上野城下町の文化的景観保全について、各種計画との整合を図りつつ、地域の意見も伺いながらス

## デジタル自治の推進

3月から本庁と支所をオンラインで結ぶ窓口、「つながる窓口」を開始しました。引き続き「公共施設予約のオンライン化」や「キャッシュレス決済の導入」などのデジタル施策を進め、市民サービスの向上に取り組めます。

## 行政改革

新たな事務事業レビューのテーマを設定し事業の見直しを図るとともに、複業人材第3期の人材登用によるさらなる行政課題の解決など、民間の知見・活力を取り入れながら、ガバナンスの適正化と効率・効果的な行政運営を推進します。



※施政方針の全文は、市ホームページでご覧いただけます。



【問い合わせ】 秘書広報課

☎22・96000 FAX24・79000  
✉hsho@city.iga.lg.jp